

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2009. 7. 7

No. 23

夏休み企業見学希望調査締め切り7/16



前回の進路だよりでもお知らせしましたが、夏休み中に企業見学を希望する生徒は 7/16 の朝の SHR までに担任の先生に提出してください。この日中に係でとりまとめて、職業安定協会へ一覧表を送らなくてはなりません。なおそれ以降も進路から各企業に個別にお願いして適宜各企業見学することは可能です。

まだ求人票も出そろっておらず、多くの生徒はどこの企業を受験したものか決めかねている状況かと思いますが、求人票が届いていなくとも、求人予定の企業をすでにお知らせしてありますのでその中から選んでも良いので、それぞれの見学希望の企業をしぼり調査用紙に記入してください。

ただし求人数が限られている一部の企業に集中してしまってもどうかと思います。**可能性の低い企業へ多く集まるより、少しでも可能性のある企業を選びそちらを見学した方がよりプラス**かと思います。今年は求人企業が少ないにもかかわらず、比較的良いと思われる企業への希望者があまり出ていないようにも思います。**皆があまり注目していない穴場の企業を早く探し、手を挙げた方がよいようにも思います。これはいやだあれはいやだ等**と言っている間に、**どんどん他の者が決めていってしまう可能性もあります**。ある企業がどんな仕事をしていてどのような企業か知りたければ進路室に各企業のパンフレットがあります。インターネットでも調べられます。何となく迷い、もたもたしているよりも是非**積極的に企業研究をしてみてください**。如何に情報検索しそれを活用するか否かにより皆さんの人生が左右されますよ。



環境産業革命の時代へ

(毎回夢がしばむような厳しい話ばかりしてきましたのでここでは少し夢のある話をしましょう)

今世の中では省エネ技術が脚光を浴びています。自動車産業界ではトヨタのプリウス、ホンダのインサートが生産が間に合わないほどに大変な人気です。ガソリンの高騰にともない世界に先駆けたこれらハイブリッド車が注目されるのも当然の成り行きでしょう。しかしハイブリッド車は一つの通過点でしかありません。**脱石油社会の当面の本命は電気自動車**です。しかし**電気自動車の一番のネックはバッテリー**にあります。現在では1回の充電でたかだか100～200キロ程度しか走れません。家庭用の電源でほんの数時間の充電で、500～600キロ走るバッテリーが開発され、車体も現在の自動車並みの価格になれば、急速に電気自動車が普及するでしょう。

オバマ大統領が「脱石油宣言」をしましたが、それにともない今後アメリカのベンチャー企業等がこの方向に研究開発をシフトして来れば、日本のこれまでの省エネ技術の優位性は一気に揺らぐ可能性も出て来ます。我が国の産業界が**省エネ、創エネ**(燃料電池等の新しいエネルギーを創造する技術)、**蓄エネ**(バッテリー等エネルギーを蓄積する技術)等**環境ビジネスに乗り遅ればこれまでの優位性は一気に吹っ飛んでしまう**でしょう。これからはまさに環境産業革命の時代であり、これまでとは**飛躍的に優れた新しい省エネ、創エネ、蓄エネの技術をいかに開発するかが、我が国産業界の生き残りに大きな鍵を握ってくる**でしょう。